



神田川水系神田川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

凡例

浸水した場合に想定される水深
（ランク別）

- 0.5m 未満の区域
- 0.5m～3.0m 未満の区域
- 3.0m～5.0m 未満の区域
- 5.0m～10.0m 未満の区域

- 水位局
- 河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

位置図



索引図



1 説明文

(1) この図は、神田川水系神田川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の神田川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により神田川が氾濫した場合の浸水をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 山口県

(2) 指定年月日 令和3年3月26日

(3) 告示番号 山口県告示第107号

(4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

(5) 対象となる水位周知河川 神田川水系神田川（実施区間）
左岸：下関市大字阿内字南畑1998番1地先から河口まで
右岸：下関市大字阿内字野中1999番1地先から河口まで

(6) 指定の前提となる降雨 神田川流域の24時間の総雨量557mm

(7) 関係市町村 下関市

(8) その他 対象区域をおよそ10m間隔の格子（計算メッシュ）に分割して計算しています。

